

CASBEE® 新築 [簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ホームケルン新工場	階数	地上3F
建設地	京都府京田辺市大住濱1番地(一部)	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,750時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年7月 予定	評価の実施日	2013年12月20日
敷地面積	5,396 m ²	作成者	谷口 吉範
建築面積	3,234 m ²	確認日	2013年12月20日
延床面積	3,711 m ²	確認者	谷口 吉範

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.4 ★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	77%
③ 上記+②以外のオンサイト手法	77%
④ 上記+オフサイト手法	77%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境 (敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3.9
LR2 資源・マテリアル: 2.5
LR3 敷地外環境: 2.8

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 1.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 1.9

音環境	1.0
温熱環境	1.9
光・視環境	1.9
空気質環境	2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

機能性	2.1
耐用性・信頼性	2.8
対応性・更新性	2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.1

生物環境	1.0
まちなみ・景観	1.0
地域性・アメニティ	1.5

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

建物の熱負荷	2.0
自然エネルギー	3.5
設備システム効率化	5.0
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	2.4
汚染物質回避	2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化への配慮	3.9
地域環境への配慮	1.9
周辺環境への配慮	2.7

3 設計上の配慮事項		その他
総合 全ての室に十分な採光を確保した設計を行っている。		特に無し。
Q1 室内環境 特に無し。	Q2 サービス性能 特に無し。	Q3 室外環境 (敷地内) 特に無し。
LR1 エネルギー 省エネルギー法を準拠する。	LR2 資源・マテリアル 特に無し。	LR3 敷地外環境 特に無し。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCO₂の算定条件等については、「LCO₂算定条件シート」を参照されたい